

保存修復グループ卒直後研修プログラム 2020年度

(年 月 日)

研修プログラムの概要:

歯科保存修復学に関連する認定医として日本歯科保存学会認定医, 日本接着歯学会認定医, 日本歯科審美学会認定医があります。認定医を取得するためには、各学会が定める認定医制度に準じた申請資格が必要であり、症例の選定や、また、申請に学会発表が必要場合にも対応出来るプログラムを実施していきます。認定医取得のためのプログラムは2年目以降から開始し、3年間で取得を目指します。初年度から2年間は、修復治療に関する知識の向上や技能の研鑽を目的とした研修を実践していきます。

取得可能な認定医・専門医資格:

日本歯科保存学会認定医・専門医, 日本接着歯学会認定医, 日本歯科審美学会認定医

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考
4-5月	保存修復治療に関する知識の向上や技能の研鑽を図る。	修復治療・接着修復に関する基礎講義		
		臨床の見学・補助		
		ファントム上における間接・直接修復の実習	修復物の提示	
		業者によるプレゼンテーションの視聴		
		口腔内写真の撮影の練習	写真の提示	
6-10月	歯科保存学分野の臨床研究に関する最新の知識を得るために学会へ参加する。 初診で配当された患者に対する治療計画立案する。	学会への参加		
		担当患者に対する治療計画について発表	2症例以上	
		抄読会	1回	
11-3月	抄読会や症例発表を行うことで、臨床に対する知識や技能の向上を図る。 研究に対する興味を高めるため、学会発表の研究に参加する。	抄読会	1回	研究参加は希望者を対象とする
		症例発表	1症例以上	
		学会発表への共同研究参加		

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考
4-7月	各種セミナーや講習会に参加することで臨床に対する視野を広げる。 学会での共同研究発表に参加し、その行程を理解し、自身の発表へと繋げる。	各種セミナーや講習会への参加	1回以上	研究・学会発表は希望者を対象とする
		学会への参加		
		学会発表への準備(演題・研究・抄録)		
8-11月	学会発表のための準備を実施する。	学会発表の内容をまとめ、予演会を実施	ポスターやスライド、発表原稿を作成する。	研究・学会発表は希望者を対象とする
		学会発表		
		抄読会	1回	
12-3月	抄読会や症例発表を行うことで、臨床に対する知識や技能の向上を図る。	抄読会	1回	
		症例発表	1回	
2年目以降	認定医・専門医取得のための症例を選択し準備を図る。	学会への参加		
		認定医取得のための症例準備		
		専門医取得のための症例準備		

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考